

平成25年9月21日

馬場地区防災士 金 森 裕

防災知恵ナビ

秋の気配を感じる今日この頃ですが、お体大切に

地震が起きた時

- ① 身を守る・・・収まるまで、身の安全を確保
むやみに、表には飛び出さない。
- ② 火があったときは、消火する・・・もし、火災が発生しても
地震が止んでからで、良い。 慌てない。
- ③ 火の始末をする
ガス器具は元栓を閉める。電気はブレーカーを OFF にする
- ④ 出口を確保する。近くのドアか窓を開ける。

もし、火災が発生しても。

火は小さいうちに消す

初期消火の限界：炎が天井に届いたらもう無理
迷わず逃げ、近所に知らせる。

一度避難したら戻らない

地震の知識

震 度 : 人間の体を感じる揺れ・・・場所によって変わる

マグニチュード : 震源地の大きさの度合い

強 度 : ガルスの単位で表され、建物などの強度計算に使われる。

ガルス数値が高くて、木造の場合と鉄筋コンクリートの場合は
強度に違いが出てくる。

「森本・富樫断層地震」 予測

地震の規模 M=7.2 家屋倒壊 30,000 棟 焼失建物 6,800 棟

火災が発生しなければ、集団避難行動は起こさない。

「火の用心」町内巡視は良い習慣 ・巡視はスムーズに！

拍子木を回しましょう。